

晴ればれチャンネル 市議会 57号
山田はるひこ NEWS
 発行所：公明党川崎市議団

● 発行人：山田晴彦 川崎市宮前区野川2650-15
 TEL：044-788-1858 FAX：044-788-2695
 ● 印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345
 TEL：044-541-0232 FAX：044-541-0232

川崎市議会 2017年(平成29年)第2回定例会
 一般質問

6月28日に行われた市議会定例会の一般質問で山田議員は、市民生活に深くかかわる教育・経済・環境などのテーマ6項目を取上げ市の対応を質しました。

こどもサポート南野川を拡充!

不登校支援をさらに強化! ▶山田議員の提案で実現した「こどもサポート南野川」。不登校児童・

生徒のための居場所として、これまでに延べ約1,500人の子ども達が利用しています。
 ▶山田議員は、先日行った現地視察を通し支援強化として、開催日と利用時間の拡充を具体的に提案。これに対し市当局からは、開所日や利用時間の拡充を含め、子ども達に寄り添った支援となるよう検討したいとの回答がありました。



地元建設業者の活用を!

市内優先発注を推進!

▶山田議員は、市の補助金で行われる保育所や特別養護老人ホーム、障害者通所施設等の建設に対し、現行基準を見直し、原則市内業者で行えるよう改正すべきと質しました。市当局からは、受注・参入機会の増大に繋がるよう対応したいと回答がありました。



**2025年に備えたインフラ整備を!
 霊園・斎苑整備に提言が反映!**

承継者問題には循環型システムが必須!

山田議員は、平成21年9月議会以降公営霊園の役割について様々な角度から政策提言を行ってきました。

提案	市の取組み・成果
緑ヶ丘霊堂の遺骨収蔵能力が限界と指摘／新霊堂建設時には遺骨管理に更新可能な有期限化の採用を	平成24年4月の新霊堂供用開始より利用期間を永年からは遺骨管理に更新可能な有期限化の採用を
一般墓所の募集倍率600倍の改善／無縁化した墓所対策として改葬手続きと無縁合葬墓建設を提案	墓地管理料長期滞納者を調査／利用者の所在判明し承継管理を改善／無縁化が確認された墓所は、平成25年度より無縁合葬墓「みどりの丘」へ順次改葬
承継者問題を指摘 緑ヶ丘霊園に有縁合葬墓建設を提案	有縁合葬墓については昨年度測量・基本設計、今年度実施設計早期整備を目指す

今年7月 コンビニ納付がスタート!

▶山田議員の提案で墓地管理料のコンビニ納付が、今年7月から実現しました。今後は、コンビニや携帯電話、スマートフォンからも気軽に納付ができるようになりました。

**かわさき北部斎苑に
 小規模式場を拡充!**

▶山田議員は、近年の葬儀形態が家族葬など小規模化する傾向にあり、そうした対応として小規模な式場を北部斎苑に設置するよう提案してきました。
 ▶これに対し、市は北部斎苑に新たに50人用の式場1室を設置し、可動式間仕切りにより25人用2室に分割して利用できる式場を整備すると回答しました。



火葬棟わきに新設される式場

友引日 明年本格運用へ!

▶山田議員が以前より提案してきた友引日の対応について、既に横浜市や東京都の一部の斎場では実施していることを取上げ市の対応を質しました。市当局は、昨年度より2か年かけて試行開苑における検証し平成30年度以降の友引日の運用時期や回数について決めたいと回答しました。

第5弾 図書館カウンター整備へ!

▶山田議員は、時間的制約から図書館に行けない方々のために図書館カウンターを駅近くに設置し、通勤等の中で利用できるよう提案してきました。特に鷺沼駅前や溝の口駅前の設置、現在返却本サービスを行っている行政サービスコーナーの活用を指摘。

▶教育長は、現在図書館カウンターについて他都市の取組みを参考に検討を進めている。市民の利便性向上を図れるようかわさき教育プラン第2期実施計画の中で検討していきたいと回答しました。山田議員は、世田谷区や札幌市でも同様に設置していることを紹介し、実現に向け対応するよう要請しました。



**野川南台コミュニティバス
 10万人の生活を支える!**

▶コミュニティバスは、平成20年7月から運行を開始、これまで無事故無違反で、延べ約10万人の方々の足として生活を支えてきました。この間、山田議員は自らの使命として様々な議会質問での提案を通し側面から支援してまいりました。



提案	市の取組み・成果
初期投資の費用としての車両購入費の支援を	初期費用の車両の購入費を補助する
運転者の安全講習の実施	運転者は市町村運営輸送等運転者講習を受講／または第2種免許所有者とする
事故対応マニュアルの作成を	区役所を含めた緊急連絡網を作成／万一の事故対応を可能とする
バス停提供者への感謝状を	市長から乗降場所提供者へ感謝状を贈呈
自治会以外の方も利用できる方を	周辺町会の関係者と調整／周辺自治会の方も乗車できるよう見直す

▶山田議員は市長に対し、住民のために無事故無違反で永年勤めてきた当該協議会をはじめ運転手等のスタッフに対し表彰状を贈るよう提案をしました。

●●晴ればれレポート●● お知らせコーナー

市営高山住宅のバリアフリーを実現!

区内市営住宅 エレベーター設置に活路

前例のないベランダ側に

2016年の川崎市営住宅の65歳以上の者は14,670人で、そのうち48.4%を占める高齢者が3,777人から増加し、高齢化が顕著になっている。また全市の65歳以上の人口が18.9%(14年時点)と増加していることから、市営住宅での高齢者比率の向上が期待されている。また、高齢者の増加に伴って、高齢者の生活の利便性を高めることが重要である。また、高齢者の増加に伴って、高齢者の生活の利便性を高めることが重要である。

山田議員の提案で既存住宅のエレベーター設置が前進。前例のないベランダ側の設置を高山住宅でモデル的に実施。
 タウンニュースには「エレベーター設置に活路」との見出しで記事が紹介されました。

川崎市南部学校給食センター

南部学校給食センターが、9月4日より本格始動。
 同センターからは、1日1万5000食を安全・安心な環境の中、温かく美味しい「健康給食」が安定して供給されます。
 宮前区では、宮崎中、有馬中、宮前平中、向丘中、菅生中の5校が対象となります。